愛知東邦大学　シラバス

開講年度(Year)	2024年度	開講期(Semester)	前期
授業科目名(Course name)	ライフデザイン		
担当者(Instructors)	手嶋 慎介	配当年次(Dividend year)	1
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	選択

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

自分の生涯にわたるキャリアをライフキャリアという。ライフキャリアについて自分が納得感を持ち、自分の個性を認識しデザイン（設計）することがライフデザインであり、キャリアの基礎となる。この授業では、多様な分野からゲストスピーカーをお呼びする。個人と社会との関わり、働くことの意味を考え、自分のことや世の中の仕事をよく知り、自分の将来を主体的に探り、表現していこうとする態度を養う。特に、自己管理を意識し、自己決定を積み重ねながら行動できるようにすることを目的とする。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	講義
授業の方法(Class method)	講義形式で行う。PBL（課題解決型学習）では、グループワークやグループ内でのプレゼンテーション等も積極的に取り入れていく。 なお、ゲストスピーカーによる講義などリモート授業として行う可能性がある。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	オリエンテーション　～ライフデザインとは何か～	オリエンテーションとして、授業全体の内容を確認する。「ライフデザイン」「キャリア」について概要を学ぶ。	□
第2回	これからの世の中とライフデザイン	ワークを通して、これまでの自分を振り返り、これからの世の中とライフデザインについて考える。	□
第3回	大学生活とライフデザイン（１）	目標設定の重要性について理解し、他者との話し合いを行い、自分の到達目標と行動プランについて具体的に考える。	□
第4回	PBL／課題解決型学習（１）	課題解決型学習を通して、課題発見力や働きかけ力について自覚する。そのための学び方について理解する。	□
第5回	PBL／課題解決型学習（２）	具体的な課題解決型学習に取り組む。課題について、個人で取り組んでいくための論理的思考力などについて自覚する。	□
第6回	PBL／課題解決型学習（３）	具体的な課題解決型学習に取り組む。課題について、チームで取り組んでいくなかで表現力などについて自覚する。	□
第7回	ライフマネーを考える	ライフデザインにおいて避けることのできないライフマネーについて学ぶ。自身の働き方、お金の使い方について考える。	□
第8回	中間のまとめ	前半を振り返り、中間のまとめとする。代表者による発表なども行う。また、後半のゲストスピーカーから学ぶための準備を行う。	□
第9回	就職活動とライフデザイン（１）	就職活動とライフデザインのかかわりについて学ぶ。具体的な就職活動の内容を踏まえて、これからの自身のライフデザインを考える。	□
第10回	大学生活とライフデザイン（２）	自分の到達目標と行動プランについて再検討し、世の中の仕事や集団における自分の役割について考える。	□
第11回	PBL／課題解決型学習（まとめ）	PBL／課題解決型学習（１）～（３）のまとめを行う。代表者・チームは発表を行い、取り組みの成果を共有する。	□
第12回	就職活動とライフデザイン（２）	就職活動とライフデザインのかかわりについて学ぶ。具体的な就職活動の体験談を聞き、これからの自身のライフデザインを考える。	□
第13回	大学生活とライフデザイン（３）	これからの世の中で求められる人材について学ぶ。そのことを踏まえ、到達目標と行動プランの見直しを行う。	□
第14回	人生100年時代のライフデザイン	人生100年時代を充実感と生きがいをもって生きるために、人生において大切にしたいことを考え、グループで話し合い考えを深める。	□
第15回	まとめ　～自己紹介文の発表とミニレポートの作成～	自分の価値観、自分の生き方に関する自己紹介文を作成し、少人数グループで発表する。これまでの授業を振り返りミニレポートを作成する。	□

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

各回の内容について、授業前に主だったキーワード（授業内で示す）について2時間程度調べ授業に臨むこと。授業後は、授業前に調べたことと授業で取り組むワークシートの内容を照らし合わせること。そのうえで、自分の将来を考え、伸ばしたいと思う力についてどのようにすれば伸ばすことができるか具体的な行動レベルで考え、行動をチェックすること（2時間程度）。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

・提出されたレポート等は、添削・採点の上で返却します。 ・プレゼンテーションは、評価表に基づいてフィードバックし、全体で共有する機会を持ちます。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
主体性	◆ 2019全学共通DP3	多様な人々の中でこれまでの自己を理解し、グループワーク等を通して、主体的に他者と協働して問題解決することができる。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験（in-class exam)	その他(Other)
			50%	50%

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

提出物、ミニレポート

■テキスト(Textbooks)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	なし（資料等を配付します）	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	授業の中で紹介していきます	
2		
3		
4		
5		